



## 2022年度フードバンクと千葉県内生協の連携キャンペーン 「いのちをつなぐフードドライブ～明日への希望を応援しよう」

### キックオフイベントを開催しました！

8月26日（金）に、2022年度フードバンクと千葉県内生協の連携キャンペーン「いのちをつなぐフードドライブ～明日への希望を応援しよう」のキックオフイベントをZoomで開催しました。

#### プログラム

13:00 開会あいさつ

13:05 フードバンクからの報告

13:45 子ども記者、ボランティア体験者報告

14:05 各生協の取り組み 紹介

14:25 閉会のあいさつ

#### ○ 開会あいさつ（フードバンクちば菊地代表）

2017年からフードバンクと県内生協が連携してより多くの人にフードバンクの活動を知ってもらう為にフードドライブキャンペーンを開催しています。このキャンペーンを通して千葉県内で支え合いの社会創りを進めていきたいとあいさつがありました。

#### ○ フードバンクからの報告

- ・フードバンクちば（発表者：高橋さん）

フードバンクちばでは、食べ物が余っていませんか？（食品ロスの問題） 食べ物に困っていませんか？（生活困窮者の増大）という2つの矛盾に取り組んでいます。この2つを結びつけるのがフードバンクです。フードバンクちばは

**集める** **届ける** **働く** の3本の柱で活動しています。食料品の配布で一番力を入れている先は、今日明日の食事にも困っている方への緊急一時支援です。年間で2000件以上の食料品を送っています。

- ・フードバンクふなばし（発表者：笹田さん）

フードバンクふなばしは2018年にふなばしで子育て家庭を応援するためにスタートしました。私たちの願いは子ども達が食に不安なく未来へ希望を持って育ってくれること、子育て家庭に寄り添える地域を目指しています。フードバンクを利用した方からも元気をもらえる手紙が届きます。皆さんから寄付していただいた食品は必要な方へ届けられたくさんのあたたかい気持ちが多くの人に届きありがたい言葉が返ってきます。

- ・とうかつ草の根フードバンク（発表者：田中さん）

とうかつ草の根フードバンクは東葛6市（野田、流山、鎌ヶ谷、松戸、安孫子、柏）の子ども食堂でつくったフードバンクです。各市の子ども食堂ネットワークに食品を提供してそこに所属している子ども食堂に食品が渡り必要とする家庭に届きます。子ども食堂は地域に根ざした居場所・コミュニティです。TKFでは6市の子ども食堂ネットワークとTKF役員とで2ヶ月に1度情報交換の場としてTKF運営委員会を開催しています。

- ・いちかわフードバンク（発表者：野口さん）

市川にいろいろな思いを持った人たちの思いをつないで2021年6月にフードバンクを立ち上げました。認知度アップ（啓蒙・啓発）、共感者・仲間を増やす、資金の確保を考えながら1年間行ない様々な人達に共感してもらい支援をしてもらいました。倉庫の作業を簡略化するための仕組みを作りボランティアで参加した方が作業しやすいようにしています。



## ○子ども記者、ボランティア体験報告

夏休み子ども企画として子どもたちがフードバンクについて取材をおこない新聞を作成しました。新聞はどれも力作です。

・フードバンクの活動が幸せに暮らすためにとっても大切な活動だと知った。



・賞味期限や消費期限にとらわれずに自分の感覚で判断できるようになろうと思った。

・自分の体験を通してフードバンクやフードロスのことをたくさんの人に伝えていきたい。

・フードバンクは、子ども食堂や福祉施設などたくさんのつながりがあることがわかった。

・フードバンクの活動で食品ロスが減り環境にも良いし、食べ物に困っている人が少なくなっていると思う。フードバンクの活動は子ども食堂や食べ物を必要とする家庭にとってとても大切な団体だと思う。

・自らフードロスにならないような食事を心がけたい。

・新聞を書くことで取材していた時よりももっと伝えたいという気が増してきた。フードバンクを知らない人に読んで欲しい。

・日本でまだ食べられるのに捨てられている 食べ物が 646 万トンもあることに驚いた。



・とうかつ草の根フードバンクでボランティア体験をしたコー

プみらいの本理事からは、とうかつ草の根フードバンクの『つながりをつくる』活動について報告がありました。

## ○ 各生協からの取り組み紹介



・パルシステム千葉（報告者：藤理事） 組合員から

賞味期限が2か月以上ある食品を受取り各センターで保管し組合員さんも交え賞味期限別に仕分けをします。2022年4月より予備野菜を配送センターの最寄の子どもネットワーク等へ寄贈しています。

・コープみらい（報告者：重田理事） 店舗に食品回収BOXを設置してフードドライブを実施しています。ここ数年で食品の寄贈が増加しました。組合員さんはじめ地域の皆さんにこの活動が広がり応援してくれる人が増えています。

・生活クラブ生協（報告者：田端理事） 9月と2月の年2回、6配送センター、9デポ（店舗）でフードドライブを実施しています。デポでは常設型のフードドライブをおこなっています。今年度は3センターで仕分け作業とエール文字の作成をおこないます。

・なのはな生協（報告者：山本理事） 今年8月に注文書にチラシをセットし早めの告知をします。チラシの配布の翌週から回収し賞味期限の仕分けをします。組合員さんの認知度も広まりたくさんの支援をしてくれる声が届きます。活動の輪を広げるために機関誌などで組合員さんへの周知を図っています。

## ○ 閉会あいさつ（千葉県生協連上山専務）

「つなぐ」のいろいろな意味や形を思いながら、みんなで連携し協力して地域に「つながりの輪」を広げていきたいとあいさつがありました。